

Funehiki High School News

vol.201

大滝根川の清掃ボランティア活動

4月5日（土）に田村市職員の方をはじめ、田村青年会議所、地元の企業の皆さんや地域の住民の方と一緒に、さくらの里クリーンアップ作戦に参加し、大滝根川の清掃ボランティア活動を行いました。船引高校からは2,3年生合わせて26名が参加しました。生徒たちは自分たちで考え積極的に行動し、多くのゴミを拾いました。船引高校の清掃区域の担当の方は、高校生が参加してくれたおかげで、活気がありとてもありがたいとおっしゃっていました。



令和7年度入学式



4月9日（水）、令和7年度入学式が挙行政され、69名の新入生が期待と希望を胸に高校生活をスタートさせました。担任から新入生一人一人呼名された後、校長が入学を許可し、「一人一人に自分の目標や夢を見つける機会があるため、積極的な気持ちで主体的に学びながら挑戦することで生きる力や卒業後の人生につなげてほしい。」と式辞を述べました。田村市長をはじめ、多くの方々からお祝いの言葉をいただき、新入生代表生徒が「校訓である『自律』を目指し、自分の夢に向かい、それを実現させるための努力を怠らないようにします。」と誓いの言葉を述べました。

たむら支援学校高等部との対面式

4月10日（木）に本校の生徒・教職員とたむら支援学校高等部の生徒・教職員で対面式を行いました。両校の校長と生徒会長よりあいさつがあり、互いに元気のよい挨拶を交わして相互理解を図りました。本校とたむら支援学校高等部は平成29年に併設され、今年で9年目となります。今年度は船引高校としての最後の文化祭となる『鵬翼祭』への参加など、生徒同士の交流をより一層深めていく予定です。



令和7年度田村市版デュアルシステム調印式



令和7年度田村市版デュアルシステム調印式が4月22日（火）に本校大会議室にて開催されました。調印式では、運営協議会会長の田村市長 白石高司様から御挨拶をいただきました。また協定書の調印では、実習企業を代表して株式会社エクストエンジニア代表取締役様、保護者代表、続いて本校校長が調印を行いました。最後に実習生代表として、3学年の代表生徒が「実習させていただけることに感謝し、田村市に貢献できる人材になれるよう、精一杯学びたい」と決意を述べました。



福島県立船引高等学校

Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233

HP...<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail...funehiki-h@fcs.ed.jp



地域おこし協力隊奮闘記



田村市の皆さま、こんにちは。昨年4月より地域おこし協力隊として、仙台市から移住してまいりました菅野智教と申します。現在は地域に点在する空き家の掘り起こしと、利用を希望される方とのマッチング業務を担当しています。

この1年を通じて、空き家バンクへの登録件数は過去最多となり、空き家問題の大きさを改めて実感しました。現地を訪ねると、そこにはかつての生活や家族の思い出が残されており、空き家一つひとつに物語があることを感じます。

一方で、活用の妨げとなっているのが「物の多さ」です。かつて豊かな

さの象徴だった物が、今は活用の障害となり、作業や引っ越しが進まないケースも見受けられました。高齢化に伴い作業が進まないことや、遠方に住まわれているため作業がなかなか進まないのが現状の課題です。

この課題を解決するため、不要になった物を再利用し、地域内で循環させる仕組みを作る新たな事業を立ち上げていきたいと思っています。物も人も生かされる持続可能な地域づくりを目指して、これからも活動してまいります。それにはやはり皆さまのお力が必要です。より良い田村市にしていくために、今後の活動のお力添えよろしくお願い致します。



持続可能な地域づくりを目指して

海を越えて

英語指導助手ペンリレー

No. 143

日本の多くの小学生は、英語で月の言い方を5年生頃から学習し始めます。June（6月）は最も発音しやすく、覚えやすい月の一つではないでしょうか。日本語の月は、数字を数えていくだけなので覚えやすいですが「日本には他にも古くからの伝統的な月の言い方がある」と聞いて驚きました。英語のJuneと日本語の水無月、両方の起源を知るとは興味深いかもしれません。

Juneはローマ神話の女神Junoを起源としています。Junoは「愛、結婚、出産」の女神なので、結婚するのは6月が良い時期だと考えられている理由です。より実際的な理由としては、6月に授かる赤ちゃんは翌年の春に産まれますので、お母さんの出産から回復するため数カ月の時間を与えてくれます。理由はあれ、6月にはいろいろな花も咲き、June bride（6月

Juneと水無月



アンセルム・ウデンさん
アメリカ合衆国・
インディアナ州出身
(田村市に来て6年目)



の花嫁）は、ヨーロッパでは良いこととされています。日本に来るまで知りませんでした。6月は梅雨のせいで結婚にあまり向いていない時期だということでした。しかし、1970年代に日本のウェディング業界は、雨の多い時期に結婚式を挙げる人を増やすためにJune brideという言葉を導入したようです。

雨と言えど、「水無月」は雨の多い月なのに、最初は奇妙な名前のように思えます。この名前の由来について2つの説を学びました。1つは、「無」という漢字は単なる当て字で、「な」という音は所有格を表す記号であるというものです。この解釈によれば「水無月」は「水の無い月」ではなく「水のある月」を意味することになります。もう1つの説は、「水無月」は旧暦に由来するため、梅雨の後の夏の暑さ、梅雨に比べると実際には乾燥している時期にあたるのではないかと思います。